



### ふるさと教育 取組事例（小学校）

学校	学年	教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)	頁
原井小	1	生活	むかしあそびをたのしもう	地域の方	1
松原小	5	社会	水産業のさかんな浜田市	浜田漁港、水産振興課、浜田税関、 浜田港運	2
石見小	3	社会	農家の仕事	佐々木農場	3
美川小	1	生活	秋となかよし	地域講師	4
周布小	3	総合	発見！ 浜田のじまん	地域講師	5
長浜小	3	総合	八朔花祭りについて知ろう	ひと・こと	6
国府小	4	総合	国府っ子環境調査隊！	地域の方、島根海洋館アクアス職 員の方、浜田市役所環境課の方	7
三階小	3・6	生活	染め物を楽しもう	地域講師、石見まちづくりセンター	8
雲城小	5	総合	食を通して考えよう ～田んぼの米作り活動を通して～	小国まちづくりセンター、食生活 改善推進協議会	9
今福小	5・6 (全校)	社会	友情の人形～キャサリンに込めら れた多くの人の思いや願い～	今福まちづくりセンター、地域 の方	10
波佐小	全校	生活 総合 特別	田植えをしよう、成長を観察しよ う、稲刈りをしよう、そぐり体験 をしよう、お正月飾りをつくら う新米を食べよう会	地域の田 地域の方 地域の米	11
旭小	1	生活	さつまいもを育てよう。 昔あそびを楽しもう。	和田まちづくりセンター、地域 の方、大学生	12
弥栄小	5・6	総合	持続可能なまちづくり	まちづくりセンターの方々、外部 講師、弥栄のや市	13
三隅小	4	社会	地域の伝統・文化と先人たち	浜田商業高校郷土芸能部	14
岡見小	3・4	総合	岡見の宝物を見つけて紹介しよう	岡見まちづくりセンター、浜田商 業高等学校郷土芸能部、佐渡村神 楽衣裳店、平原柿園、須津漁港	15

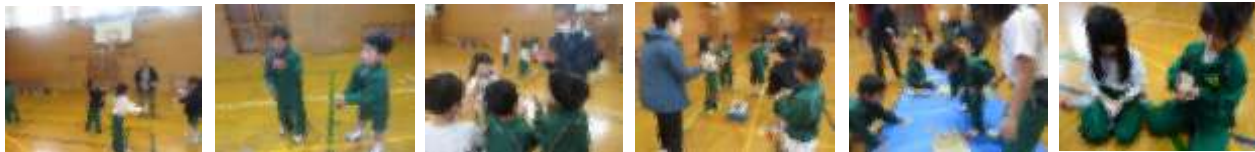
※ 総合：総合的な学習の時間

### ふるさと教育 取組事例（中学校）

学校	学年	教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)	頁
第一中	2	総合	赤ちゃんふれあい体験	地域コーディネーター、地区の赤ちゃんとその親	16
第二中	1	総合	私たちのふるさと浜田の魅力を発信しよう！	地域の方、市役所の方、神楽文化伝承室の方	17
第三中	1	総合	防災学習	浜田市役所、まちづくりセンター、地域防災士	18
浜田東中	1	総合	ふるさと再発見学習	浜田市内の水産事業所の方々、浜田水産高等学校、津和野町観光協会の方々 など	19
金城中	3	総合	伝統文化の継承	甚左衛門太鼓保存会	21
旭中	1	総合	旭町の再発見ツアー	各地域まちづくりセンター、地域の生産者、旭分室	22
弥栄中	1	総合	ふるさと弥栄を知って考えよう ～安全・安心な弥栄ライフ～	杵束まちづくりセンター、安城まちづくりセンター、産業自治課、防災士、被災された方	23
三隅中	1	総合	ふるさと学習	三隅町内6か所のまちづくりセンターとその地域にある事業所等	24

※ 総合：総合的な学習の時間

## ふるさと教育 取組事例



学校名	浜田市立原井小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1	生活科	むかしあそびをたのしもう	地域の方
ねらい	地域の方と昔遊びを楽しむ活動を通して、昔遊びの面白さに気付くとともに、遊びを工夫したり、地域の方とのふれあいを楽しんだりして、自分の生活を楽しくすることができるようにする。		
<p><b>1 取組の概要</b></p> <p>児童にとってあまり体験をしたことのない昔遊びを、地域の方と一緒にいった。今回は、竹とんぼ、お手玉、あやとり、けん玉、めんこ、こまの6つの昔遊びをした。児童を、1組と2組で混合の6つのグループに分け、地域の方には各グループに入ってもらい、それぞれの昔遊びコーナーと一緒に回っていただいた。</p> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b></p> <p><b>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</b> 自分たちの暮らす地域には、いろいろなことを教えてくださる大人がいることが分かり、地域に愛着をもつとともに、地域の方と一緒に楽しく遊ぶ活動を通して、いろいろな人とコミュニケーションを図る力を高めたいと考えた。</p> <p><b>(学力育成の視点から)</b> 今までに体験をしたことがない昔遊びに対して、地域の方にコツを教えてもらったり、何度も挑戦しながら取り組んだりすることで、できるようになった自分の成長に喜びを感じたり、昔遊びの楽しさや面白さに気付いたりすることを目指した。</p> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b></p> <p><b>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</b> 地域の方と一緒に話をしながら昔遊びの体験をしたことで、児童も地域の大人も一緒に楽しんでいる様子が見られた。児童は、「またふるさと先生に会いたい」「もっとふるさと先生と一緒に勉強したい」など、地域の方と関わることの楽しさに気付くことができた。</p> <p><b>(学力育成の視点から)</b> 昔遊びの中には、すぐに成功するものではなく、何度も練習を繰り返すことで上達する遊びが多くあった。児童の中には、途中であきらめそうになる姿が見られた子もいたが、各グループに地域の方が付いてくださりあたたかい声を掛けてくださったおかげで、あきらめることなく最後まで活動に取り組むことができた。学習を通して、粘り強く挑戦する姿勢が見られた。</p> <p><b>4 課題や今後の展望</b></p> <p>今回の学習を通して、児童らは地域の方と関わることの楽しさを知ることができた。他の教科や学習でも、地域の方と関わる機会を増やしていき、普段の学校生活で味わうことのできない学びの機会を増やすことができると良いと感じた。</p>			
			
<p>【竹とんぼ】      【お手玉】      【あやとり】      【けん玉】      【めんこ】      【こま】</p>			

## ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市立松原小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
5	社会	水産業のさかんな浜田市	浜田漁港、水産振興課 浜田税関、浜田港運
ねらい		浜田漁港周辺を見学し、漁獲方法や漁獲量、配送や加工の仕方など、浜田の水産業の実際についてと、貿易と運輸に関して、浜田港の現状と工夫を学ぶ。	
<p><b>1 取組の概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁港としての浜田の港の働きと工夫を調べる。</li> <li>・「貿易と運輸」に関係する3つの施設を見学し、働きと工夫を調べる。</li> </ul> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b>  <b>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働き手不足や漁獲量の減少などの厳しい状況の中、どんちっちブランド化等の工夫をこらして活性化を図っておられることが分かった。</li> <li>・福田水産の倉庫を見学し、浜田港で水揚げされたサバなどの魚を海外に輸出されていることを知った。浜田港の発展は、この貿易を活性化させることにあるのだと感じた。</li> </ul> <p><b>(学力育成の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実物を実際に見ることによるインパクトが大きかった。浜田港で輸入されている実物（石炭や融雪剤など）や金属探知機、また浜田港運でのガントリークレーンは圧巻だった。浜田港運さんが県の許可をとられて、実際に動くところを見せていただいた。</li> </ul> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b>  <b>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浜田の発展は港の活用が欠かせないことが改めて分かった。特に貿易に関しては発展する可能性が大きいことなどを感じた児童が多かった。</li> </ul> <p><b>(学力育成の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設に見学する前には、パンフレットや各ホームページで事前調査をし、質問事項と予想する答えを考えてから現地に向かった。</li> <li>・事後は、調査したことを新聞形式でまとめて校内掲示した。</li> </ul>			
<p><b>4 課題や今後の展望</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁港関係の見学は、市水産課の方々に調整をしていただき、貿易関係の施設は浜田税関の方々お世話になった。それぞれ周辺に関連施設が密集してあるので、見学しやすかったし、現地の方々の生の声を聴くことができたのもよかった。</li> </ul>			



## ふるさと教育 取組事例


学校名	浜田市立石見小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3	社会科	農家の仕事	佐々木農場
ねらい	農家の見学を通して、農家の仕事や工夫を知るとともに、自分たちとの生活との関わりについて考える。		
<p><b>1 取組の概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○浜田市の地図をもとに、浜田市で作られる主な野菜や果物の生産地の分布を知る。</li> <li>○佐々木農場のHPを見て、農家の仕事について気付いたことや疑問に思ったことを話し合い、単元の学習問題をつくる。</li> <li>○農家を見学し、ビニールハウスの様子や作業の様子を観察したり疑問に思ったことを質問したりする。</li> <li>○佐々木農場の仕事や工夫をノートにまとめる。</li> <li>○佐々木農場の商品のPR文を考える。</li> </ul>  <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から) 市内でも売られている野菜を育てている、校区内にある佐々木農場の見学を通して、ふるさとへの愛着や誇りを育む。 (学力育成の視点から) 総合的な学習の時間「浜田のすてき見つけ隊！」の学習と横断的に学びをつなげることで、より深い理解へとつなげる。</p> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から) 単元の終末で考えた商品のPR文には、「農薬を使わないようにして野菜を作っています」「農家の方たちが1つ1つ点検しているから、きれいな野菜です」「農家の方たちが愛情をこめて作っているから、おいしいですよ」という内容が書かれていた。また、給食を食べながら、「〇〇を作っていると言っておられたから、これも佐々木農場から来たのかな」と話す姿も見られた。このことから、地域への愛着や誇りが高まったように感じる。 (学力育成の視点から) 佐々木農場のHPから簡単な情報を得た上で学習問題づくりを行い、単元を構成したことで、児童は課題意識をもって主体的に学習に取り組んでいた。</p>  <p><b>4 課題や今後の展望</b> ふるさとの「ひと・もの・こと」という視点を、2学期以降の総合的な学習の時間にもつなげ、浜田市の魅力を捉えられるようにする。</p>			

(様式 3-1-1【学校用】)

## ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市立美川小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1	生活科	秋となかよし	地域講師
ねらい	地域にお住いの樹木医（松保護士）を講師に迎え、学校の周りにある樹木の種類やそれを使って秋のおもちゃを作ることを通して、ふるさとへの愛着を深めることができる。		
<p><b>1 取組の概要</b></p> <p>はじめに、秋の植物を使った遊び道具（やじろべえ・どんぐりゴマ）を作るために、どんぐりについての話を聞いた。どんぐりにもいろいろ種類があることを聞き、美川地域にもたくさんどんぐりの木があることを知った。</p> <p>どんぐりゴマを作るときには中身をくり抜く、やじろべえを作るときには穴をあけ、バランスを考えてひごを差し込むなどの工程を理解し、完成に向けてじっくり取り組んだ。</p> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力をつけるために、どのような意図をもって活用したか。</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>美川地域は自然豊かな地域であること、樹木に詳しい樹木医さんがおられることを知り、ふるさとに対する誇りや愛着を深めることができる。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>思考力・判断力・表現力を高めるために、試行錯誤を重ねたり、わからないところは講師に質問したりするなど、児童の主体性を育む。</p> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>今回講師を引き受けてくださった方が、地域にお住まいの本校卒業生とあって、児童は親しみをもつことができた。樹木の専門家から詳しく話を聞くことで、自然についての興味関心をさらに深めた。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>試行錯誤を重ね、自分で作ったどんぐりゴマややじろべえが、世界に一つの自分だけの宝物となった。作る工程でが難しい所は、質問したり、手伝ってもらったりしながら制作活動を楽しむことができた。</p> <p><b>4 課題や今後の展望</b></p> <p>年間指導計画に位置付け、来年度も継続した活動としていきたい。</p>			
		 	
			

## ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市立周布小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3	総合	発見！浜田のじまん！	地域講師
ねらい	昔から伝わる地域の祭りや神楽の話聞くことを通して、郷土の伝統行事や伝統芸能にふれ、神楽を調べていくきっかけにする。		
<p><b>1 取組の概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浜田の自慢できるものについて話し合う。</li> <li>・「石見神楽」について、知っていることや調べてみたいことを話し合う。</li> <li>・地域講師を招き、石見神楽についての話を聞いたり、体験活動をしたりする。【西村神楽社中】</li> <li>・学習したことをグループで新聞にまとめる。</li> </ul>  <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の衣装や道具等を使った体験活動を計画した。①お囃子②蛇胴③面や道具の3ブースを設け、児童一人一人が存分に「本物に触れる」場面を設けた。</li> </ul> <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の学習意欲を高めたり、石見神楽に対する理解をより深めたりするために質疑応答の時間を設けた。事前学習で疑問に思ったことや、当日の話を聞いて興味をもったことについて質問を行った。</li> </ul> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石見神楽という身近な素材ではあるものの、児童にとっては学習を通して初めて知ることも多かった。また、実物に触れることもなかなか無い機会なため、体験活動からも多くの学びがあった。児童の成果物からも、そうした新たな発見に対する感動も読み取ることができ、石見神楽の魅力が再認識することにつながった。</li> </ul> <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話を聞いて学んだことや体験を通して知ったこと、また書籍で調べたことなど、伝えたい内容に合わせて必要な情報を取捨選択しながら新聞にまとめていた。また、読み手にどのように伝えたいかを考え、表現方法も工夫して取り組んだ。</li> </ul> <p><b>4 課題や今後の展望</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の取り組みをもとに、地域の教育資源である（ひと・もの・こと）をもっと効果的に活用する方法を考え、よりよい児童の学びにつながるようにしていく必要がある。</li> </ul>			

## ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市立長浜小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3	総合	八朔花祭りについて知ろう	ひと・こと
ねらい		地域のみなさんに伝統的な八朔花祭りの花づくりを教わりながら自分たちでも花を作り参加することで、地域の伝統行事や文化について興味や関心を高める。	

### 1 取組の概要

- ・地域の方から、八朔花まつりの歴史や由来について話を聞く。
- ・地域の方と一緒に八朔花まつりの花を作る。

### 2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

#### (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- ・地域のみなさんに伝統的な花まつりの花作りを教わりながら自分たちでも花を作り参加することで、地域の伝統行事や文化について興味や関心を高める。
- ・地域の伝統行事にかかわる活動を経験することにより、より地域の良さに触れ自分たちの住む長浜・熱田への愛着を深める。  
(学力育成の視点から)
- ・地域の方とかかわることでコミュニケーション能力を高める。

### 3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)

#### (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- ・八朔祭りという、地域の行事や伝統文化について学んだことで、自分たちの住む町を大切にしたいという思いをもつことができた。  
(学力育成の視点から)
- ・花祭りについて学ぶ中で、地域のボランティアの方と交流することができた。わからないときは自分から地域の方に質問をする児童が少しずつ増え、コミュニケーション能力を高めることができた。

### 4 課題や今後の展望

- ・長浜には受け継がれている伝統文化がたくさんある。今年度は「八朔花祭り」を取り上げて調べ学習や体験学習を行ったが、今後は地域の良いところをたくさん知った上で、その一つとしての「八朔花祭り」を学習する流れで行うと、地域への愛着がさらに深まると考える。



## ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市立国府小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
4	総合的な 学習の時間	国府っ子環境調査隊！	地域の方、島根海洋館アクアス職員の方、浜田市役所環境課の方
ねらい		地域の川や海の水質調査をとおして、水辺の環境保全に興味をもち、環境を守る活動や環境の大切さを発信する取組から、ふるさとの自然を守っていかうとする態度を育てる。	

### 1 取組の概要

ふるさと国府の海や川などの環境をこれからも守っていくためにどうしたらよいかを考える学習を行った。1学期には、ふるさとの海（曇ヶ浦）と川（久代川）をフィールドワークして、生き物が豊かに暮らす環境があるかを調査したり、アクアスの方にお話を聞きさらに詳しく実態を把握したりする中で、たくさんのごみが打ち上げられていることにも気付いた。そこから海や川の生き物を守るために環境をよくする取組を学習課題として設定した。2学期には、ごみが環境にどのような影響を与えているかについて、市役所環境課の方から教えていただいたり、ふるさとの海の環境をよくするために地域の方にも協力してもらい、国府海岸のごみ拾いを実施したりした。学習のまとめには、国府の環境を守るためにできることを、学んだことや活動の感想を抜き出して台本にし、成果発表会で保護者に発表したり、新聞にまとめたりした。



### 2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

#### (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

体験活動を多く設定し、環境に触れる機会を増やすことで、子ども達が活動を通して課題意識を持ちやすくなるようにした。また、地域の方と一緒に活動する時間を設定することで、地域の方々の国府の海への思いを児童が直接感じられる場面を増やした。

#### (学力育成の視点から)

活動ごとに全体での振り返りの時間を取り、学習の方向性を児童が考えられるようにすることで、ふるさとの海の環境を自分達で守りたいという主体的な学習になるようにした。学習を通して学んだことを表現する場として成果発表会や、地域の方の前で自分の思いや感じたことを伝える場を設定した。

### 3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）

#### (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

地域の方や市役所の方に教えて頂いたことを通して、ふるさと国府の海や川などの環境をこれからも守っていくためにどうしたらよいかを日頃の生活と繋げて考えることのできる子ども達が増えた。

#### (学力育成の視点から)

授業公開日や成果発表会等で、学んだことや調べたことをまとめたり発表したりする活動を設けた。必要な情報を収集・選択し、まとめること、そして相手にわかりやすく伝えることを通して、表現力の育成を図ることができた。



### 4 課題や今後の展望

1年間の活動をとおして、ふるさとの海への愛着が増し、環境を守ろうという実践意欲が高まった。しかし、環境問題を考えていく時には、問題の背景となる社会的な知識をどのように学ばせていくかということが本実践の課題として残った。

## ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市立三階小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3・6	生活単元学習	染め物を楽しもう	地域講師 大谷 能子さん 石見まちづくりセンター
ねらい	身近な草花を材料にした染め物体験を通して、自分の力で物づくりをする楽しさを味わったり、ふるさとの自然の豊かさや四季の変化に気づいたりする。		
<p><b>1 取組の概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知的支援学級の児童の自立を目指し、「生活単元学習」の取り組みとして年間を通じて染め物体験を4回行った。</li> <li>① 春「よもぎの葉」…校庭や学校周辺に生えているよもぎを摘み、親子で「絞り」に挑戦した。</li> <li>② 初夏「玉ねぎの皮」…自分達で栽培した玉ねぎを収穫した後に、皮を活用した。</li> <li>③ 夏「マリーゴールド」…地域で種を購入して花を育てた。染めた布で巾着袋を制作した。</li> <li>④ 秋「桜の葉」…落葉した校庭の葉を集めた。染め物作業の全工程を自分達で行った。</li> <li>⑤ 学習のまとめを地域の方へ紹介した。</li> </ul>			
<p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b></p> <p><b>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が、地域の方とのつながりを感じたり、学習への興味関心を高めたりすることを目的として、地域の大谷能子さんを染め物講師として招いて継続して交流した。さらに、保護者も参加する場を設定し、地域と家庭とのつながりを図った。</li> <li>・石見まちづくりセンターの「ふるさとまつり」で、制作した布や学習の様子をまとめた掲示物を展示し、地域の方へ支援学級の児童について理解が深まるようにした。</li> </ul> <p><b>(学力育成の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的意識をもって相手の話を聞く力を養う。</li> <li>・地域の方との交流を通して、協働する喜びを味わう。</li> <li>・作業の見通しをもって主体的に活動する。</li> <li>・知りたいことを図書で調べたり、体験したことを表現したりする力を高める。</li> </ul>			
<p><b>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</b></p> <p><b>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者とともに積極的に地域の行事に参加する姿が見られた。</li> <li>・身近な自然に親しみ、草花を愛でる心の豊かさにつながった。</li> </ul> <p><b>(学力育成の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本や物語だけでなく、物づくりや図鑑、自然に関する科学・生物等読書の幅が広がった。</li> </ul>			
<p><b>4 課題や今後の展望</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方と交流する機会をさらに増やしていくことで、支援学級の児童について地域の理解を深めるだけでなく、児童自身が社会とのつながりを感じながら生活できるようにしたい。</li> </ul>			



## ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市立雲城小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
5	総合的な学習の 時間	食を通して考えよう ～田んぼの米作り活動を通して～	① おぐにまちづくりセンター ② 食生活改善推進協議会
ねらい		金城(小国地域)の米作り体験や収穫した米を使った調理活動を通して、地域の良さや、そこに住む人々のふるさとに対する思いにふれ、自分達に何ができるのかを考える。	

### 1 取組の概要

金城町小国地域はおいしいお米が収穫できる地域として知られている。小国で田植えや稲刈りなどの体験を地域の方々と一緒にすることで地域の方の思いを知ることができることや、さらに、小国のお米がおいしい秘密をさぐることで「ふるさとのよさ」を実感できると考えている。また、ふるさとの宝として、小国のお米の良さをPRしたり、活かそうとしたりする活動を通して、地域貢献の意識を高めることにもつながると考え、本活動を設定している。子ども達にもその思いを伝え、金城町の自然の豊かさや人々の心の温かさ、自分達に何ができるかを学んでいく学習を年間通して実施した。

### 2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

#### (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

浜田市や金城町など地域で暮らす人々や自然の豊かさや人々の心の温かさ、故郷に対する人々の愛情を感じ、米作り、調理活動などの体験を通して、自分達に何ができるかを学ぶため。

#### (学力育成の視点から)

5年生の社会科の米作りの学習において、身近な題材を取り上げることで「調べてみたい」「もっと知りたい」という、主体的に学ぶ意欲を高めるため。②家庭科の炊飯学習や食生活改善推協議会さんとの調理活動において、食の大切さに学ぶため。③社会科、家庭科、総合的な学習の時間の学習内容を教科横断的に取り扱うことで、確実な学力の定着をねらうため。④一人一台端末を活用することを通して、体験活動を通しての気づきや疑問を個の興味・関心に応じて調べ学習に生かすため。⑤実体験をもとに学んだことをタブレットを活用して新聞にまとめることで、調べたことや学んだことを簡潔に表現したり、視覚的にも分かりやすく表したりする力をつけるため。

### 3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)

#### (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

地域の自慢としてお米を大切に育てておられる地域の方の思いを感じ、ふるさとのよさとして自分の言葉や表現方法でPRをすることができた。また、小国地域でとれたお米を実際に食べてみることで、美味しさを味わったり、お世話になった地域の方に対する感謝の気持ちを伝えたりすることができた。

#### (学力育成の視点から)

社会科・家庭科・総合的な学習の時間との教科横断的な学習により、課題発見力や情報収集・活用能力、デジタル新聞作成による表現力、体験活動や話し合いによるコミュニケーション能力が身についた。



【田植え】



【食生活改善推進協議会さんとの活動】

### 4 課題や今後の展望

年間計画に基づいた継続的な活動の実践と、自分たちに何ができるかを考え実践する力を育てていくこと。

## ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市立今福小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
5・6年 (全校)	社会科	友情の人形～キャサリンに込められた多くの人の思いや願い～	今福まちづくりセンター 地域の方
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争によって人々のくらしや心が傷つけられることを知り、命や平和の尊さ、ふるさとの大切さについて考える。</li> <li>・人形にこめられた人々の思いを読み取り、人の気持ちを想像する力を育てる。</li> </ul>		
<p><b>1 取組の概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内資料を参考にし、本校に現存する友情の人形の経緯を調べる。</li> <li>・地域の方から友情の人形や戦争の話聞き、これまでの学習内容や感想をまとめる。</li> <li>・全校集会で、他学年にも学習したことを発表し、共有する。</li> </ul> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとの歴史について地域の方から知ることができ、当時の思いを感じ取ることができた。その際、まちづくりセンターや地域講師と事前に打ち合わせを行い、この活動で子どもたちに身につけさせたい力やめざす子ども像について共有した。</li> </ul> <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだことについて、ひとりひとりの視点で感想をまとめ、全校集会で発表した。</li> <li>・5・6年以外の各学年にも、まとめた資料を配布し、児童が読んだり、担任から話をしたりして学習する時間を確保した。</li> </ul> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当時の地域の方々の思いを知り、今後は自分たちがその思いを引き継ぎ、学校やふるさとを大切にしたいと感じることができた。また、日頃から関わり見守ってくださる地域の方々が、歴史を知る貴重な存在であることに気づくことができた。</li> </ul> <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内資料やインターネットでの情報を読み取ったり、まとめたりすることができた。また、学習内容を全校に発表することにより、下学年も貴重な人形の存在の経緯を知る良い機会となり普段の人権意識のふりかえりに役立った。</li> </ul> <p><b>4 課題や今後の展望</b></p> <p>県内2校にしかない貴重な人形なので、まちづくりセンターと連携して歴史や経緯を知る機会を設け、人形についての学習を引き継いでいく。また、児童がより主体的に地域の歴史や人と関わるができるよう、年間の活動内容やねらいを明確にしていく。</p>			



## ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市立波佐小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
全校	生活科 総合 特別活動	田植えをしよう、成長を観察しよう、稲刈りをしよう、そぐり体験をしよう、お正月飾りをつくろう 新米を食べよう会	地域の田 地域の方 地域の米
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人々とのかかわりを深め、ふるさとを愛する心を育てる。</li> <li>・稲作を支えてくださった地域の方々へ感謝の心をもつ。</li> <li>・実体験をもとに考えたことを言葉で表現し、学びを深める。</li> </ul>	

### 1 取組の概要

本校では、ふるさと教育の一環として全校児童が行う稲作体験を軸にした年間の学習活動を展開している。田植え、稲刈り、新米を食べよう会といった農作業体験に、稲わらそぐり、お正月飾りづくり、七草がゆを食べる会など、地域に受け継がれてきた伝統文化や季節行事を取り入れ、自然や人の営みと深くかかわる体験的な学びを行っている。活動の実施にあたっては、まちづくりセンターのコーディネートにより、地域の方々が継続的に連携できる体制を整えている。地域の方は、農作業の指導や文化的な知恵の伝承を通して、子どもたちの学びを温かく支えてくださっており、児童にとっては身近な大人との関わりの中で学ぶ貴重な機会となっている。特に「新米を食べよう会」では、田植えの際にお世話になった地域の方を学校に招き、児童と共に収穫の喜びを分かち合いながら新米を味わうことで、体験を通じた学びが人とのつながりとして実感できる場となった。

### 2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

#### (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- ・地域の稲作や伝統行事、人とのつながりを生きた教材として活用し、自然や食への感謝の心、地域と関わる力、ふるさとを大切に思う気持ちを育てるために、地域の方と一緒に活動する中で、地域の方の思いや願いに触れ、地域の一員として、主体的にかかわろうとすることができる体験の場を設定した。

#### (学力育成の視点から)

- ・思考力、判断力、表現力を育成するため、実体験をもとに「気づく、考える、表現する」学習場面を設定した。
- ・聞く力や、言語活動の充実を図るため、地域の方から話を聞いたり、問をもって関わったりする活動場面を設定した。

### 3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)

#### (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- ・伝統行事や地域の文化、地域の方に関心を持ち、ふるさとについて進んで調べたり話題にしたり、地域の方と関わろうとしたりする姿が増えた。

#### (学力育成の視点から)

- ・体験をもとに理由をつけて考えたり、自分の思いを言葉で伝えたりする場面が増えた。
- ・異学年での協働的な活動を通して、考えを交流しながら学びを深めるなど、主体的に学習に取り組む態度が育ってきている。

### 4 課題や今後の展望

- ・より多様な地域人材と連携し、活動内容を継続、深化するとともに、持続可能な体制づくりを進めていく必要がある。



## ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市立旭小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1	生活科	さつまいもを育てよう。 昔あそびを楽しもう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和田まちづくりセンター</li> <li>・地域の方</li> <li>・大学生</li> </ul>
	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さつまいもができるようすに関心をもって観察や世話をし、収穫の喜びを感じることができる。</li> <li>・招待する人の気持ちを想像しながら、みんなが楽しめるようにルールや約束を工夫して地域の方と昔遊びを楽しむことができる。</li> </ul>	
<p><b>1 取組の概要</b></p> <p>&lt;5月&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「さつまいもの育て方、苗の植え方について」地域の方のお話</li> <li>・さつまいもの苗植え（学校花壇2つ）</li> <li>・外でできる竹馬、羽子板、大縄等の昔遊びをする。地域の方と一緒にやる。</li> </ul> <p>&lt;5～10月&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さつまいもの観察・草抜き・水やり</li> </ul> <p>&lt;10月下旬&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さつまいもの収穫（学校花壇2つ）</li> <li>・教室でできるかるた、こま、けんだま、お手玉等の昔遊びをする。地域の方と大学生と一緒にやる。</li> </ul> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b></p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の学校生活ではなかなか体験することのできない栽培体験や地域の方と一緒にやる活動を設定し、経験を通して「生命を育てることの難しさや喜び」「コミュニケーションの大切さ」を実感できるようにした。</li> </ul> <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の水やりの中で気付いたこと、草抜きでのさつまいもの観察で成長の変化を学級内で伝え合うことなどで、よりさつまいもに関心をもてるようにした。</li> <li>・図書館からさつまいもの本を借りて教室に置くことで、児童が気になったことや知りたいことをすぐに調べられるようにした。</li> </ul> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b></p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方と、さつまいもの栽培や昔あそびの活動を一緒に活動したりすることで、地域の方に児童からあいさつや会話をするが増えた。</li> </ul> <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さつまいもがどのように大きく育つか変化や成長の様子に関心を持ち、継続的に育てる活動を通して、さつまいもを大切に育てることができた。</li> </ul> <p><b>4 課題や今後の展望</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちそれぞれが、経験したことや学んだことに対する思いや感想を生活科カードに記入してきた。今後は、学んだことだけでなく、経験や学びに対する自分の思いを記録に残していくことが、ふるさとへの愛着や貢献意識に繋がっていくと思うので、どちらもバランスよく取り入れていくようにしたい。</li> </ul>			



## ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市立弥栄小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
5・6	総合的な学習	持続可能なまちづくり	まちづくりセンターの方々 外部講師 弥栄のや市
ねらい		・人口減少が激しい弥栄の町の実態を知り、地域に根付き様々に活動している人々の実践や思いを聞くと共に、弥栄の町や浜田市の産業に関心を持ち、持続可能な町づくりについて主体的に考えをもととする。	

### 1 取組の概要

- ・各地域に根差し、様々な活動を行い町づくりに貢献している方々の思いや実践事例を聞き、自分達が弥栄のためにできることについて考える。
- ・弥栄の町や浜田市の産業に関心を持ち、持続可能な町づくりについて考え、実践につなげる。

### 2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

#### (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- ・浜田市の各所で様々な事業を展開している方々の思いや取組事例を、生の声として聞くことでふるさとへの愛着を育み、ふるさとのために自分達には何ができるかということについて考えさせる。
- ・自分たちが考えた町おこし、持続可能な町づくりのための方法を、ふるさと浜田市弥栄の地で実際に実践することで、ふるさとへの愛着を更に高めるとともに、よりよい実践について継続して考えさせる。

#### (学力育成の視点から)

- ・講師の方々の思いや取組事例を聞くことで、児童が学習し思考する視点を明確にし、質の高い話し合いが行われるようにする。
- ・自分達で考えた持続可能な取組を、実際にふるさと弥栄で実践することで、成功・失敗体験を重ねながら、スパイラルで児童の思考が深まっていくようにする。

### 3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)

#### (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- ・ふるさと弥栄に対する愛着や誇りが高まった。
- ・具体的な実践を通して、ふるさとに貢献・活性化させようとする意識が高まった。

#### (学力育成の視点から)

- ・友達と話し合い、協力し、試行錯誤する中で、よりよいものを生み出していく意識と力が高まった。

### 4 課題や今後の展望

- ・複式学級の特徴を生かし、現5年生が次年度6年生になった時に、今年度の実践を踏まえ、更によりよいものを作り上げていけるよう支援していく。また、新6年生が新5年生に教え導き共に協力して思考を深めていけるようにする。

- ・このことを継続することで、ふるさと弥栄を愛し、誇りを持つと共に、ふるさと弥栄をもっと住みよく活力ある町にしようとする意識的伝統を構築する。



## ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市立三隅小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
4	社会科	地域の伝統・文化と先人たち	浜田商業高校郷土芸能部
ねらい		地域で活動している高校生の方から話を聞いたり、衣装や道具の体験をしたりしながら石見神楽に親しむと共に、郷土の伝統・文化について理解し、大切にしていこうとする気持ちを育む。	

### 1 取組の概要

浜田市の伝統・文化「石見神楽」の体験学習として、三隅町出身の生徒が所属している浜田商業高校郷土芸能部の来校が実現した。岡見小学校との交流学习も兼ねて神楽鑑賞と衣装・道具・奏楽の体験活動を行った。



### 2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

#### (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

浜田の伝統芸能である石見神楽を高校生も取り組んでいることを知り、憧れや尊敬の気持ちを抱くと共に、より身近に神楽を感じてほしいと考えた。実際に演目を見たり、道具や衣装に触れたりする活動を通して、石見神楽に興味を持ち、ふるさとに対する愛着を深めたいと考えた

#### (学力育成の視点から)

タブレットを使った調べ学習を取り入れ、石見神楽の歴史的背景や受け継がれてきているという事実を知ることにより、体験をより充実したものにした。自分たちでできそうなことを考えたりするきっかけにしたいと考えた。



### 3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)

#### (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

高校生が演目を披露しているところを身近に観た子ども達は、その迫力と舞や奏楽の素晴らしさに感動していた。また、高校生が郷土芸能の担い手として活躍している姿や、やさしく教える姿を通して、自分たちも大きくなったらそういう高校生や大人になりたいという思いをもつことができ、キャリア教育としてもよい体験になった。

#### (学力育成の視点から)

タブレットを使って石見神楽の歴史や意味、県内の出雲神楽との違い、演目の種類、道具の種類などについて調べ、紙にまとめていった。また、調べて分からなかったことについては高校生が来た時に質問をし、深めることができた。




### 4 課題や今後の展望

普段、目にするところのある石見神楽のことを知ることができる活動だったため、子ども達の喜びは想像以上に大きかった。令和5年度以来に高校生に依頼をして活動をしたが、高校生にとってもよい機会となったようなので、毎年行う活動として定着できるものしていきたい。



## ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市立岡見小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3・4	総合的な学習 の時間	岡見の宝物を見つけて紹介しよう	岡見まちづくりセンター 浜田商業高等学校郷土芸能部 佐渡村神楽衣裳店 平原柿園 須津漁港
ねらい	岡見の「ひと・もの・こと」との関わりながら実体験や調べ学習、見学を通して「岡見の宝物」を見つけ、地域のよさを再発見することができる。		
<p><b>1 取組の概要</b></p> <p>地域の宝を探すことをテーマに活動に取り組んだ。</p> <p>6月：須津漁港での釣り体験</p> <p>6/7/10/11月：柿園見学、摘果作業体験、収穫体験。選果場見学</p> <p>12月：浜田商業高校伝統芸能部による神楽体験、佐渡村衣裳店見学</p> <p>2月：まとめの発表会</p> <p>学習活動の中では、実際に釣り名人から教わりながらの釣り体験活動、柿農家の人から現地で説明を聞きながらの摘果・収穫作業体験、合わし柿作り体験、高校生による神楽体験、地元の神楽衣裳店見学をした。それぞれの体験活動を通して学んだことや調べたことを新聞やレポートにまとめ、1年間の学びの成果として全校児童や保護者、地域の人に発表した。</p> 			
<p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b></p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>岡見地域のよさを改めて認識し、それを「宝物」と感じて大切に思う気持ちを育むために、2年間の生活科での学びと各教科の学習を活かしながら、地域のひと・もの・ことにさらに深く関わる場を設定した。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>3年生にとっては初めての総合的な学習の時間の学習だが、2年間の生活科での学びの経験と同じ教室で学ぶ4年生との合同学習により、見通しをもって取り組むことができた。</p>			
<p><b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b></p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>釣り体験後、家族と一緒に漁港に出かけて釣りを楽しむ家族が複数あった。子ども達の学校での学び体験が保護者にも影響を与えた。直接体験を通して地域を大切に思う気持ちが高まった。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>現地で地域の人から直接説明や話を聞き、その場で質問して疑問を解決する場を多く設けることで、自分から積極的に尋ねたりメモをとったりできるようになった。また、学んだ事柄から特に自分が伝えたいことを選択し、詳しく説明しようとする意欲が高まった。</p>			
<p><b>4 課題や今後の展望</b></p> <p>複式学級のため、学年の発達段階に応じた目標を設定し、1つの学習活動を通して二学年の目標達成を図りたい。また、学んだ成果をお世話になった地域の方にも披露することで、児童の学習意欲の向上を図るとともに、地域の方にも達成感を感じてもらえるようにしたい。</p>			

## ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市立第一学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
2	総合的な学習 の時間	赤ちゃんふれあい体験	・浜田一中校区地域コーディネーター ・地区の赤ちゃんとその親
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 赤ちゃんともふれあうことで、生命の尊さ、大切さを実感し、乳幼児に関心を持つ。</li> <li>・ 保護者への感謝を感じ、親子関係を考えるきっかけとする。</li> <li>・ 赤ちゃんやお母さん等異世代とのコミュニケーションの中で、対話する力をつける。</li> <li>・ 地域ぐるみで子育て支援をしていることを知る。</li> <li>・ 赤ちゃん理解につなげる。</li> </ul>		
<p><b>1 取組の概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域にすむ赤ちゃんとの触れ合いや、子育て等についての親へ質問をする。</li> </ul> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b>  <b>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 親の話や赤ちゃんとの触れ合いから、地域のみなさんで子どもを慈しみ、育てていることを感じる。</li> <li>・ 赤ちゃんを大切に育てている親や地域の方々の話をきき、自分自身が大人になる過程で、赤ちゃんや子どもを大切に支えたいという気持ちをもつ。</li> </ul> <p><b>(学力育成の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 親や赤ちゃんとの触れ合いの中でコミュニケーションの力や対話する力をつける。</li> </ul> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b>  <b>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 赤ちゃんとも優しく触れ合うなど、相手の立場にたった行動ができた。</li> <li>・ 自分が大人になった時に、地域の一員として子どもを育てたいという気持ちをもつことができた。</li> <li>・ 育ててもらった親への感謝の気持ちが高まった。</li> </ul> <p><b>(学力育成の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 赤ちゃんの表情や行動から、どのように触れ合うと相手が安心してくれるかを考えるなど、相手に合わせて自分の行動を調整することができた。</li> <li>・ 親さんとの会話を通して、相手に伝わりやすいように言葉を選ぶ力がついた。</li> </ul> <p><b>4 課題や今後の展望</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加される赤ちゃんとも親さんの確保が大変だが、地域コーディネーターに大変お世話になっている。</li> <li>・ 赤ちゃんとも触れ合いが苦手な生徒もいるので、ねらい に迫れるような支援を考えていく。</li> <li>・ 赤ちゃんふれあい体験を日ごろの生活で生徒が活かして いけるよう、振り返りをさらに工夫するとよい。</li> </ul>			



## ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市立第二中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1	総合	私たちのふるさと浜田の魅力を 発信しよう！	地域の方、市役所の方、 神楽文化伝承室の方
ねらい		ふるさと浜田の魅力と課題を知るために、タブレットや本を通して調べ学習を行う。また、浜田を活性化させるための活動に取り組む人々や組織、地域の伝統や文化の継承に力を注ぐ人々の話を聞き、学んだことを発表する。	

### 1 取組の概要

- ・ 浜田の伝統・特産品・観光についてお話を聞こう
- ・ 自分が探究するテーマを決めよう
- ・ 誰にどんな話を聞きたいか、具体的に考えよう
- ・ 調べたことを踏まえて、質問を具体的に考えよう
- ・ お話を聞いたり調べたりしたことをもとに、浜田の魅力をどう伝えたらよいか考えよう



### 2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

#### (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- ・ 実際に地域の発展のために取り組んでおられる方々の思いを聞くことで、ふるさとを大切にす  
る気持ちに共感し、自分たちに何ができるか意欲的な気持ちになることを意図した。

#### (学力育成の視点から)

- ・ 浜田についていろいろな人からお話を聞くなかで、自分たちが知りたいことを質問する時間を  
用意し、その質問を事前に考えたり、その場で感想を考えて発表したりする中で、課題発見・  
解決能力やコミュニケーション能力を育むことを意図した。

### 3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）

#### (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- ・ 地域の人と関わりつながっていくことを頑張りたい、地元浜田について詳しく知ることがで  
きて良かったという感謝を伝える感想が多くあり、ふるさとへの愛着が高まり、地域への貢献  
意欲が高まったことがうかがえた。

#### (学力育成の視点から)

- ・ 働くということが地域や社会の発展に貢献していくことを学び、現在の学校での学習が将来  
のキャリア形成につながるという内容の感想が多く、課題解決に向けての気持ちの高まりや学  
習意欲の向上につながったと考えられる。

### 4 課題や今後の展望

- ・ 地域の課題を自分事として捉えられるような取り組みの工夫が必要である。

## ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市立第三中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1年	総合	防災学習	浜田市役所 まちづくりセンター 地域防災士
ねらい	日本が災害大国だということを知り、災害に対する意識を高め、災害発生時に自分や他人の安全を確保するための対処法を知る。		
<p><b>1 取組の概要</b></p> <p>日本で起きた過去の災害について調べ学習をする。浜田市役所の方から災害について話を聞くことや、避難所生活空間の設営や備蓄品の紹介、災害食の試食を行う。</p> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b></p> <p><b>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</b></p> <p>まちづくりセンターや地域防災士をはじめとする地域の方々と共に、防災について楽しみながら学び、共に生きることの重要性に気づく。そして、災害発生時に自分はもちろん、他人の安全も確保するために自分たちが動かなければならないという意識を持たせる。</p> <p><b>(学力育成の視点から)</b></p> <p>災害や防災に関する基本的な知識や、普段から備えておくことの必要性を理解し、家族など周りの人に伝えることができる。また、そのようなことを実際に行動に移すことができる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b></p> <p><b>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</b></p> <p>地域の方との活動を通して、自分たちが地域の一員であるという意識を持つとともに、将来周囲の人と協力しながら、地域に貢献したいという意識を持ち始めた。</p> <p><b>(学力育成の視点から)</b></p> <p>地域の防災士の方にご協力いただき、避難所生活空間の設営体験を行うことができた。実際に災害が発生した場合、本校が避難所になるため、具体的にどのように動いたらよいのかを知ることができた。また、どのような備蓄品をどれだけ用意しておかなければならないのか、実際に商品を見ながら確認することができた。</p> <p><b>4 課題や今後の展望</b></p> <p>継続的に防災学習で学んだことに触れ、考えたことや行動に移そうと思っていたことを再度確認できるようにする。また、子どもたちがより自分事として考えられるように今後も活動内容の改善に努める。</p>			

## ふるさと教育 取組事例

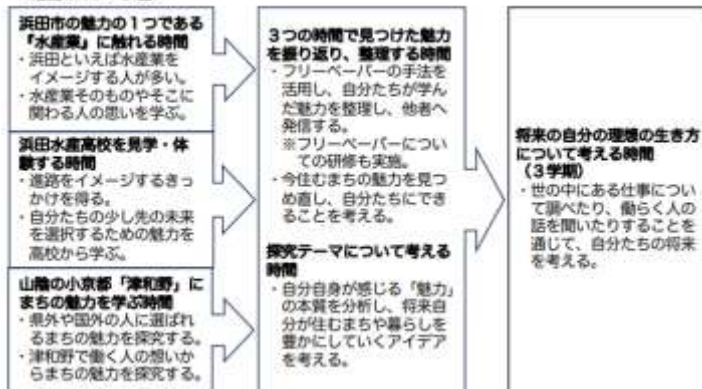
学校名	浜田市立浜田東中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1	総合的な学習 の時間	・ふるさと再発見学習	・浜田市内の水産事業所の方々 ・浜田水産高等学校 ・津和野町観光協会の方々 など
	ねらい	・浜田市内での職場見学並びにインタビューを通して、水産資源に関係ある職業等や働く人たちの思いについて理解を深める。 ・水産関係の高等学校を見学・体験することを通して、自分の進路を考える機会とする。 ・津和野町を散策したり、交流及び体験したりすることを通して、ふるさと島根の理解を深める。	

### 1 取組の概要

学年で取り組む探究テーマとして、「自分たちのまちや暮らしを豊かにするまちの「魅力」って何だろう？」を設定した。ねらいを達成するために、さまざまな世代や立場の方々からまちや暮らしの魅力を感じ、探求することで今住んでいるまちの魅力を見つけることや、将来自分たちが住むまちや暮らしを自分たちで豊かにしていくためのヒントを探究していく「魅力」から探ることを学習する活動を展開した。

主な活動としては、水産業事業所訪問、浜田水産高等学校の見学・体験学習、津和野町の町巡りを実施した。これらの3つの活動を通じて感じた「魅力」をもとにフリーペーパーを作成し、今住むまちの魅力を見つめ直し、自分たちにできることや、将来自分が住むまちや暮らしを豊かにしていくアイデアを考えた。

<活動のイメージ図>



<活動の様子>



### 2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- ・大人は自分たちのまちの魅力を語れるが、中学生は自分たちのまちの魅力への気づきが少ないと感じるため、さまざまな世代や立場の方々からまちや暮らしの魅力を感じ、その魅力を探究することで今住んでいるまちに愛着や誇りを感じてほしいと考えた。また、浜田といえば「水産業が盛んなまち」「海鮮が美味しいところ」というイメージをもつ人が多いので、将来どんなまちに住んでも、どんな仕事についても生まれ育った浜田市の魅力の1つである水産業について、語るができるようになってほしいと考えた。そこで、浜田市の水産事業所の方々や、ほかの市町と比較するために近隣の津和野町のまちづくりに関わるの方々との関わりをもつ時間を設定した。

**(学力育成の視点から)**

- ・自分たちのまちや暮らしを豊かにするまちの魅力を見つけるために、訪問先や見学先でインタビューを行ったり、必要な情報を選んだりすることを通じてコミュニケーション能力や情報リテラシーを身につける。
- ・フリーペーパーにまとめていく際に、自分の考えや学習したことを表現する力や他者に発信していく力を身につける。また、作成時にタブレットを活用し、情報モラルや技術の向上などの面にも取り組む。

**3 児童・生徒に見られた変容 (どのような力が身に付いたか等)**

**(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)**

- ・自分たちの住む町の魅力を考えてみることで、地域について関心をもつ姿が見られた。また自分の住むまちをよくしたいという思いで地域に関わる方々と出会うことで、地域に貢献していきたいという気持ちが高まった生徒の姿も見られた。自分の将来の生き方についても、学んだまちの魅力から考えることができた。

**(学力育成の視点から)**

- ・今後の積み重ねも大切にはなるが、自分自身の将来やなりたい姿を考えることによって、今頑張りたいことや取り組んでいきたいことを言語化することができた。
- ・フリーペーパーを作成する中で、自分自身の伝えたいことを選んでまとめていく力を育むことができた。

＜作成したフリーペーパーの例＞



**4 課題や今後の展望**

水産業事業所訪問、浜田水産高等学校の見学・体験学習、津和野町の町巡りのように、生徒が現地に足を運び、実際に体感しながら学習を深める時間は効果的であったと考える。一方で、3つの現地での実習の期間が空くことで、それぞれの訪問先での学びを蓄積し、つなげていくことに難しさを感じる生徒もいたと考えられる。また現地での実習に必要なとされる時間の割合が大きいため、生徒同士で学習したことやふるさとに対する思いを、対話を通じて深める時間を十分に設けることができなかった。

2年時には修学旅行において他県を知る機会があるため、今回学んだ自分の住むまちの魅力をもとに、比較をしながらふるさとについて考える機会を設けていきたい。

## ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市立金城中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3	総合的な学習	・ 伝統文化の継承	・ 甚左衛門太鼓保存会
ねらい		郷土芸能の継承、その表現活動をとおして、郷土への愛着をもつことができるようにする。	

### 1 取組の概要

中学生が地域を元気にする実践のひとつとして実施。郷土芸能「甚左衛門太鼓」保存会に協力してもらい、太鼓の演奏方法や所作などを習得し、継承していこうとする取組。総合的な学習の時間を使って、指導者の方に毎時間教わり、金城中学校学習発表会で演奏を披露した。この活動は10年以上続いている。また、昨年度に引き続き、雲城小学校の生徒たちにも披露し、小中連携としての取組も行った。



### 2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

#### (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- ・ 郷土芸能のよさにふれることで、ふるさとへの愛着と誇りをもつことができるようにする。
- ・ 保存会の方々との交流をとおして、生徒の地域貢献意欲を高める。

#### (学力育成の視点から)

- ・ 異世代交流や甚左衛門太鼓の演奏をとおして、コミュニケーション力や表現力を高める。

### 3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)

#### (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- ・ 地域の方々の中学生に寄せる期待と感謝の意をくみ取り、地域活性化の担い手としての自覚をもった。

#### (学力育成の視点から)

- ・ 他者と協働して創造する力が高まった。
- ・ ボランティア活動を中心として、積極的に地域活動に協力するようになった。



### 4 課題や今後の展望

- ・ 地域側と事業前の計画・事業後の振り返りをする事。
- ・ 前例踏襲ではなく、目標達成のために効果的な学習計画の工夫、改善策作成をしてPDCAサイクルで連携事業の質を高めていくこと。



ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市立旭中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1	総合的な学習の時間	旭再発見ツアー	各地域まちづくりセンター 地域の生産者 旭分室
ねらい		自らが課題を見いだすとともに、解決策について考え、提案し、自ら地域に関わろうとする	

**1 取組の概要**

自分たちの住む旭町についてブレインストーミングを行い、取り組みたい課題を考え発表しあった。今年度は「市木地区の蛍」「和田地区の桃」「今市地区の神楽」について旭中内をツアーでまわり、それぞれの地区の地域課題について解決策を考案し「少子高齢化への手だて」「特産物のPR法」などを総合的な学習の時間の公開授業で提案した。



**2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)**

○旭の発展のために活動しておられる方々の取組、地域の魅力や課題についてお話を聞くことにより、ふるさとを大切にする気持ちを養うとともに、地域のために自分たちに何ができるか考え、行動しようとする態度を育てる。

**(学力育成の視点から)**

○実際に出向いて地域の方にインタビューをすることで、コミュニケーション能力を向上させる。  
○自ら課題を見だし、その解決策を地域の方々に知ってもらうための情報発信能力を高める。

**3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)  
(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)**

○旭のまちに出かけ、地元で地域の発展のために活動しておられる方々にインタビューを実施したことで、旭の現状やその人の思いを知ることができ、旭町のよさとともに課題を見いだすことができた。そして、今後、自分たちにできることは何かを考えるきっかけとなった。また、地域の方々に大切にされていることを実感し、ふるさと旭を大切に、貢献していこうという思いが強くなってきたことを生徒の振り返りから感じ取ることができた。

**(学力育成の視点から)**

○個々の課題解決に向けて、他者と協力し工夫して取り組む力が高まった。また、地域の方々にインタビューすることを通して、知りたいことをたずねたり、言いたいことを伝えたりする技能が向上し、コミュニケーション能力が高まった。  
○自ら見出した課題について整理し、自分の思いをパワーポイントにまとめ、発表することで、情報発信能力を高めることができた。

**4 課題や今後の展望**

今年度の活動を通して、旭町のよさとともに課題を理解し、解決策について自分の考えをもつことができた。今後も探究のサイクルを回し、学びを深めていきたい。

## ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市立弥栄学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1年	総合	ふるさと弥栄を知って考えよう ～安全・安心な弥栄ライフ～	杵束まちづくりセンター、安城まちづくりセンター、産業自治課、防災士、被災された方
ねらい		<p>○ 地域の「ひと・もの・こと」を積極的に活用することを通して、郷土の一員としての自覚を高め、郷土を愛する気持ちを育むとともに、自己の生き方を考える基盤を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との交流を通して、故郷に愛着を持ち、すすんで地域社会に貢献しようとする態度を育てる。</li> <li>・地域社会の実態を知り、自分の考えをもち、発信する力を育てる。</li> </ul>	
<p><b>1 取組の概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の考えをもとにテーマを設定し、現在の弥栄の取組と課題を知る。その中から、自分の課題を設定し、調べ学習をすすめ、今の弥栄町の防災についてまとめた。そのことから自分の意見を持ち発表する。</li> </ul> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b>  <b>(故郷への愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとの過去の災害について学び、それをもとに小学校での活動と重ならないよう配慮し、中学校として地域との関わりを広げられるようなテーマを設定した。</li> <li>・中学校の案をもとに、テーマに沿った人を地域の公民館にコーディネートしていただいた。また、フィールドワークや防災備品組立訓練等の体験活動に参加していただき、連携実施した。</li> <li>・レポートやスライドにまとめ、弥栄の防災について考えたことを学習発表会で発表した。</li> </ul> <p><b>(学力育成の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災への意識を高めるための講義・活動・体験を実施することで、防災について「わかる」ことを増やした。</li> </ul> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b>  <b>(故郷への愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に被災地を見学し、被災の状況を聞いたり、防災備品組立訓練を行ったりしたことで、災害を身近なものとしてとらえる感想が多く見られるようになった。</li> <li>・「中学生でもできることをやりたい」「弥栄を大切にしていきたい」などの自分の考えを、調べてわかったこととともに、自信をもって発表することができた。</li> </ul> <p><b>(学力育成の視点から)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害を調べる中で、他教科の知識を活用する場面があり、「つながる」力がついた。</li> </ul> <p><b>4 課題や今後の展望</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりセンター、外部講師との連携をとるための準備が必要</li> </ul>			



## ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市立三隅中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1	総合的な学習 の時間	ふるさと学習	三隅町内6か所のまちづくりセンターとその地域にある事業所等
	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の人やものにふれ、地域の良さに気づき、思いや活動を知り、地域に貢献しようとする態度を育てる。</li> <li>○ 地域の人との交流を通して、相手の話をよく聞き、自分の考えを深める力をつける。</li> </ul>	
<p><b>1 取組の概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 班ごとに訪問先について調べる。質問を考える。</li> <li>・ 班ごとにスクールバスを利用して地域インタビュー活動を行う。 ⇒3班に分かれ、1班につき2か所のまちづくりセンター管轄内の事業所等に訪問する。 訪問先では、事業所等の見学や活動内容についてのお話を聞く。</li> <li>・ 班ごとにまとめ、パワーポイントを使って発表を行う。</li> <li>・ 自分たちが地域を盛り上げるためにできることを考える。 ⇒三隅小・岡見小2年生を三隅中に招待し、ミニレクレーションを行う。</li> </ul> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三隅町に住んでいながら、知っているようで知らないことが多い「三隅のこと」について知ること、ふるさと三隅町への愛着や誇りを形成できるように設定した。</li> </ul> <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現地で地域の人とふれあうことで、コミュニケーション能力を、現地で見聞きしたことをまとめ、発表することで、自分の考えや情報を相手に「わかりやすく効果的に伝える力」を身につけることができる。</li> </ul> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</b> (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「三隅のこと」について知ること、ふるさと三隅町に対する愛着や誇りの形成の第1歩となったように感じた。「自分たちが地域のためにできること」を積極的に考え、実施している姿から地域に貢献しようとするようすが見られた。</li> </ul> <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発表会に「地域インタビュー」に携わった方に来ていただき、意見を聞くことで自分たちの「わかりやすく効果的に伝える力」について客観的にとらえ、今後の課題としてとらえることができた。</li> </ul> <p><b>4 課題や今後の展望</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後も継続してこの活動を行い、地域との交流を活発にし、ふるさと三隅に対する誇りをもてるようにしてほしい。まちづくりセンターと協力することで、学校だけでは「知らない・探せない・できない」ことが可能になり、生徒にとって有意義な活動ができるために、綿密に連絡を取ることが必要である。</li> </ul>			
